



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 今井 秀一

編集者 白波瀬 浩幸

〒606-8395 京都市左京区

東丸太町9-1 マンパワービル 3F

TEL・FAX 075-752-5090

E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net



CONTENTS

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| TOP | ◆ 第11回新入転入研修会のお知らせ、参加者募集、精度管理日程 |
| REPORT | ◆ 本邦初(?)のwebを用いた遠隔授業 |
| REPORT | ◆ 輸血検査実技講習会 |
| PROCEEDINGS | ◆ 理事会議事録(第1回、第2回) |

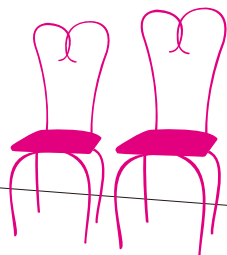
welcome

第11回 新入・転入会員研修会

日時：9月11日(金) 18:00 ~ 21:00

場所：(財)京都教育文化センター 302号室

内容：講演会・技師会活動の紹介



京臨技の活動や行事について、ゲームを交えながら楽しく学んでいきます。

新入・転入会員以外の方もお気軽にご参加いただき、京臨技の活動について理解を深めていただくことができますので、奮ってご参加ください。

軽食・飲み物も用意しております。

先輩会員の方も一緒にご参加ください。

お知らせ

参加者募集

「くらしと健康展」(9月19日(土) ~ 20日(日) 京都府総合見本市会館(パルスプラザ))で、簡易血糖測定装置を使った血糖検査を手伝っていただく会員を募集しています。

※日臨技生涯教育の「基礎」の点数に加算されます。

お問い合わせは事務局まで。

京臨技精度管理の日程

10月22日(木) サンプル配布

今年度から参加証を発行します。

精度管理調査の結果をまとめた報告会も開催いたします。とくに技師長や部門の管理的立場の方は積極的にご参加ください。

REPORT 研修会報告

**本邦初(?)
webを用いた
遠隔授業**
メディカ出版 前川芳明



図1 研修会場と当日の web 参加者との関係

平成21年7月7日(火)に開催された(社)京都府臨床検査技師会研修会を会場研修と同時にwebで配信し、遠隔授業を開催しました(図1)。今回のテーマは2講座です。

① わかりやすい臨床検査士認定試験問題

(臨床化学)の解説
講師：藤本一満
(株)ファルコバイオシステムズ (0774-46-2109)

② 臨床検査技師の教育を支援する教材

講師：前川芳明
(株)メディカ出版 (06-6385-6931)

今回の研修会の仕組みについて説明します。会場参加者は通常の研修会と変わりません。webを利用した遠隔授業参加者は

- ① 事前に参加権限 URL を提供
- ② 当日は開催 30 分前からアクセス可能
- ③ 講義は各自のパソコンには図2の画面が表示されます
- ④ 音声と画像と資料で受講
- ⑤ 質問は図2の最下段左にあるチャット画面から行います (web 参加者の画像・音声は聞こえません)

雰囲気は伝わりましたでしょうか。それじゃ、当日の研修会を覗いてみましょうか。

<http://ondemand.nice2meet.us/?log_key=medica-1-6889_f476c54214a41e874ec76ebcaf38e7c2>
ここへアクセスして頂ければ当日の様様をご覧いただけます(2009年10月末まで閲覧可能です)。

多くの研修会は交通の便等から都市部で開催されます。それは都道府県の研修会であっても全国的な研修会も同様です。いわゆる地域教育格差が存在する結果となります。このオンライン研修システムを利用すれば、地域教育格差を解消することができます。

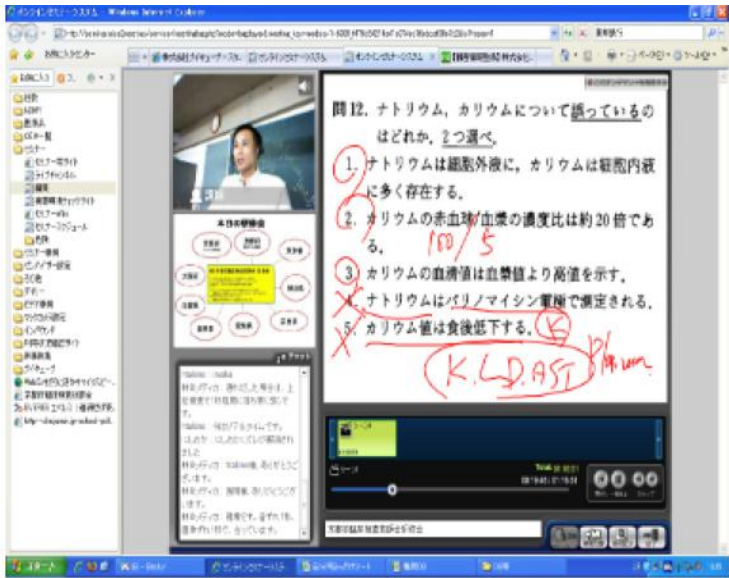


図2 パソコン画面上の研修状況

その他の利点は

- ①テキストチャットセンターやアンケート機能で双方向型の講義を開催し、学習意欲を促進!
- ②忙しい人や遠方で足を運べない人たちでも人気講師の講座を受講可能!
- ③学習意欲の高いアクティブな参加者が集まり、習熟度アップ!
- ④広い会場を利用しなくても済むので、いつものパソコン

ンが研修ルームに早変わり!

などがあります。

メディカ出版では年間およそ200のセミナーを全国で開催しています。今後、オンライン研修システムを活用したセミナーも合わせて開催し、セミナー会場へ行くのが困難な方々にもレベルの高い情報をお届けしたいと考えています。このシステムを育てるために、皆様方のご意見・ご質問等のご支援をお願いします。

初のweb研修会に モニター参加して

綾部市立病院 今井秀一



今回、(株)メディカ出版の前川様から「Webを用いた研修会」が可能か?一度試してみたい。「離島や遠距離で研修会に参加できない人たちにも研修の場を」というご提案が京臨技にありました。そこで京臨技主催の研修会会場をリアルタイムに配信し、京都[2箇所]、東京、岡山、奈良、愛知、福岡、滋賀、大阪の各会場Webで研修を受ける設定でした。当初は5月26日(火)の研修会が設定されていましたが、世間を騒がせた新型インフルエンザで研修会が中止になり、Web研修会も当然やむなく延期となりました。延期になった研修会が7月7日に決定されていたので当日は少し間延び感がありましたが、朝出勤時に再度パソコンの環境設定を事前に配布された資料で確かめておき準備OK。しかし午後4時半から急な会議が入り、6時は終わると高をくくっていました。会議が終了したのは6時35分。これは困った

と思いつつ部屋へ戻りパソコンに向かい、手順通りに進めたのですが、肝心の開催アドレスが分かりません事前の資料は(例)のアドレスです。仕方ないのでメディカ出版に電話し「開催アドレス」を教えてくださいという失態。何とかセミナーに繋がったのは6時55分やれやれホッとしました。

研修会の画面は講師の藤本さんの動きがややコマ送り状態ですが、音声ははっきり聞こえ研修会場の雰囲気も伝わりその会場にいるような気分で、資料ははっきり見え添削の赤ペンもスムーズに動いていました。Web参加の人の感想、質問はチャット画面で行えるので不便ではないように感じました。今回の研修会は試験問題の解説がテーマを取り上げておられたので良かったです、講演会形式だとどの様に映るのか見たい気持ちになりました。

今回の初めての試みでしたが、会場と一体感がありよかったです。これにかかる費用もかなりと聞きました。個人の負担が大きくなり参加しにくくなるか、安いと研修会場に足を運んで頂ける人が減るような気がします。どちらにせよこの方法で研修は可能と思います。最後にこの様な体験をさせて頂いた前川様に感謝です。当日講師の藤本さん、班長の荻野さんご苦労様でした。



REPORT

研修会報告

輸血検査実技講習会

日時：平成20年7月4日 土曜日 9:00～17:00
 会場：京都保健衛生専門学校
 主題：研修会「輸血検査に必要な基礎知識・基本テクニック」 9:30～12:00
 実技講習会：「ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ」 13:00～17:00
 講師所属：バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社
 診断薬事業部 IHビジネスユニット
 講師名：小黒博之 他 輸血検査研究班運営委員
 分類：専門-52-検体検査 20点
 共催等：バイオラッド ラボラトリーズ株式会社、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
 全体参加人数(スタッフ+参加者) 33+賛助会員3人
 京臨技会員参加人数：29人

会員参加人数 32人
 仮会員参加人数 1人
 非会員参加人数 0人

講演内容：例年行っている実技講習会ですが、今年は午前中に講義の部分を行い、午後から講義という形で行いました。輸血検査の基本的なことを講義でわかりやすく解説した後に、実技講習を行い五感で体験していただけたと思います。

日時：平成20年7月11日 土曜日 9:00～17:00
 会場：京都保健衛生専門学校
 主題：輸血検査実技講習会②
 副題：ABO・Rho(D)血液型、不規則抗体スクリーニング、クロスマッチ、直接クームス試験、抗体解離試験(溶血性輸血副作用発生時の輸血検査)



講師所属：京都大学医学部付属病院輸血・細胞治療部
 講師名：万木 紀美子 他 輸血検査研究班運営委員
 分類：専門-52-検体検査 20点
 共催等：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
 全体参加人数(スタッフ+参加者) 19+賛助会員3人
 京臨技会員参加人数：17人
 会員参加人数 19人
 仮会員参加人数 1人
 非会員参加人数 0人
 講演内容：今年度は京大医学部付属病院 輸血・細胞治療部の万木氏に講師をお願いしました。参加人数はほかの行事とも重なり例年より少なめでしたが、その分機器などの余裕ができたために余裕を持って実技を学べたと思います。

報告 相田幸雄 (京都南病院)

京臨技会誌 2009. vol.36 の訂正

平成21年度学術研究班名簿において、免疫血清研究班で2名の所属間違いがありました。お知らせするとともに会誌名簿の訂正をお願いいたします。また、関係各位には大変ご迷惑をおかけいたしました。何卒ご寛恕いただきたくお詫び申し上げます。

・班長：荒賀 智永さんの所属
 誤：公立南丹病院 SRL 検査室
 正：綾部市立病院

・会計：馬淵 葉子さんの所属
 誤：京都第一赤十字病院
 正：自宅会員